

科目名称(Course Title)				担当教員(Instructor)	
グリーンツーリズム論				中尾 誠二	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	3年次	講義	無	科目等履修・聴講
授業の概要(Course Description)					
日本における「グリーンツーリズム政策」について、その理念や背景について詳しく考察する。さらに、農林漁家民宿・農林水産物直売所・農山漁村レストラン・道の駅といった「グリーンツーリズム施設」や日本型ワーキングホリデー等「ソフト事業」の現状と課題を明らかにし、2003年以降に全国適用された旅館業法等の規制緩和によってもたらされた「農山漁村民泊」の新たな動き等を踏まえ、今後の展望を行う。					
授業の到達目標(Course Objectives)					
「地域経営」の視点から、グリーンツーリズムによる農山漁村振興の概要・各論を学び、政策的問題解決の基本的な考え方を身につける。					
授業計画(Course Schedule)					
第 1 回	グリーンツーリズム・グリーンライフ・エコツーリズム (1)				
第 2 回	グリーンツーリズム・グリーンライフ・エコツーリズム (2)				
第 3 回	農林漁業・農山漁村の魅力と多面的機能 (1)				
第 4 回	農林漁業・農山漁村の魅力と多面的機能 (2)				
第 5 回	農林漁家民宿・農山漁村レストラン (1)				
第 6 回	農林漁家民宿・農山漁村レストラン (2)				
第 7 回	クラインガルテン・市民農園 (1)				
第 8 回	クラインガルテン・市民農園 (2)				
第 9 回	観光農園・農林水産物直売所 (1)				
第 10 回	観光農園・農林水産物直売所 (2)				
第 11 回	公的交流施設 (道の駅・農林漁業体験実習館・廃校活用施設) と指定管理者制度				
第 12 回	旅館業法等の規制緩和と農山漁村民泊 (1)				
第 13 回	旅館業法等の規制緩和と農山漁村民泊 (2)				
第 14 回	農山漁村ワーキングホリデーとWWOOF				
第 15 回	オーライ! ニッポン運動と教育旅行受入による農山漁村地域の活性化				
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
① 授業前にテキストの該当部分を予め読んでおくこと					
② ニュースや新聞に絶えず目を向けておくこと					

成績評価の方法と基準(Grading)		
評価方法	(割合)	評価基準
期末試験 講義ノート記載状況 受講態度	(40%) (40%) (20%)	秀：必要なキーワードを過不足なく用いて、論理的に客観的な説明ができ、かつ、問題点を的確に指摘できている 優：キーワードを用いながら論理的に客観的な説明ができ、かつ、問題点を理解している 良：おおよその説明はできており、かつ、問題点を理解している 可：しくみや問題点の説明において、最低限の水準を満たしている 不可：しくみや問題点が説明できていない
テキスト (Textbook)		【書名】 グリーンライフ入門      【著者】 佐藤誠・篠原徹・山崎光博（編著） 【出版社】 農山漁村文化協会      【出版年】 2005年
参考書・資料等 (Supplementary Reading)		適宜紹介
備考 (Other Information)		・指定時期までにテキストを入手しない場合は受講を認めない。また、講義後は毎回ノートを提出してもらうため、バインダー（ルーズリーフ）方式のノートを用意すること。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)		研究室（4号館4F南側一番奥）前に掲示したTel/Mail等へ連絡もしくは在室時に直接面談